自治会防災対策思考シート　C-BAT Community-Bousai by Active Thinking

１　課題　　震度６強地震発生。自分の自宅が倒壊して傾く。家族の一人は傾いた壁と家具に胸を挟まれ呼吸困難。自分だけでは助けられない。一人は家具の転倒で頭部裂傷。数件先から火災が発生したらしく、煙が入ってくる。なぜ、このようなことになったのか？この状況を救ってくれる地域社会にしていくためには、どのような備えや訓練をしておくべきだったか？

２　地域の防災を考える　自分たちの安全確保をしつつ、現実的に実行することを前提に、最善の対応を各自考え、リスクコミュニケーションし、共有しましょう。

　　それを時系列でまとめると「干池自治会防災マニュアル」ができていきます。

現状　２＝計画・物資・訓練など備えと体制十分　１＝物資・計画・物はあるが体制不十分　空欄＝課題として考えたい

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| BAT観点 | 防災思考項目 | 現状 | 担当 | 干池自治会　令和元年７月２８日防災研修課題 |
| FREE免災 | Fix Furniture 地域の家具等固定推進策 |  | 各世帯管理班機動班 | 町の家具固定率を上げるための手立て |
| Resistance to earthquake 地域の耐震化・不燃化率・危険ブロック塀推進策 |  | 各世帯管理班救護班 | 町の耐震化率、旧耐震家屋、旧耐震アパートの耐震化危険なブロック塀等の是正 |
| Earth science education 地域の地形地質　災害履歴・災害リスク　震度６強で想定される倒壊・火災被害 |  | 管理班情報班 | 今日の研修をもとに共有を |
| Evacuation 大火災等避難想定　事前避難（住み替え）いっ時避難場所の機能 |  | 避難誘導班 | いっとき避難場所は必要か、どこに設定するか？ |
| MASCOT備災 | MANUAL 地域防災マニュアル　地域・地区計画 |  | 管理班 |  |
| Stockpile 備蓄　生活資機材・救助資機材 |  |  |
| Community 顔の見える安否確認できる地域 |  |  |
| Communication 災害への備えを毎年話し合う |  |  |
| Together 学校・行政・医療・企業と連携協議 |  |  |
| LIFE避災震災最中 | Look carefully 室内のもので怪我しない訓練 |  | 各世帯救護班普及は？ |  |
| Information 初期微動・緊急地震速報で動く訓練 |  |  |
| Foot work 頭部・身を守り転ばず動く訓練 |  |  |
| Escape 室内の安全な場所確保と退避習慣 |  |  |
| 1HADA発災後１時間LEAF抗災 | Lift 要救出者を倒壊物から救い出す |  |  |  |
| Evacuation 住民・要援護者を避難・避難誘導する |  | 避難誘導班 | 火災延焼時の避難誘導要援護者の安否確認と避難誘導 |
| Anpi 住民の安否確認・否なら即対応 |  | 情報班 | 見過ごしのない安否確認と、生死を分ける１時間以内の対応を可能にするには |
| Aid 負傷者の応急手当て　トリアージェ　病院搬送 |  | 救護班 | 軽症者、中等症者、重症者へのAIDと病院搬送 |
| Fire 消火器・バケツ・スダンドパイプによる迅速消火 |  | 機動班 | フラッシュオーバー前に消し止める隣家延焼を防ぐ |
| SWEET耐災発災後生活開始 | Space sheltering 在宅避難？避難所？ |  | 地域防災拠点？ |  |
| Water 水の備蓄　水の確保　受水槽活用 |  |  |
| Eat 食　 |  |  |
| Electric 電気　照明（発災が夜なら？）通信 |  |  |
| Toilet ます既設トイレを山盛りから守る |  |  |
| ABCD応災避災生活問題解決 | Allow 支援物資、水、ボランティアの受援体制 |  |  |
| Bash 風呂 |  |  |
| Care 要援護者のケア |  |  |
| Crime 犯罪対策 |  |  |
| Dust ゴミ対策　 |  |  |
| Dead, ご遺体の安置場所　扱い事前計画 |  |  |
| Decide 有利な被災判定 |  |  |